

【自分づくり】社会に目を開き「なりたい自分」の姿を描き実現しようとする人

学校だより 第10号

教育目標

華王

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

平成30年1月9日発行

須賀川市立第三中学校

TEL 73-2377

発行責任者：校長 永瀬功一

新年明けましておめでとうございます。

2018年となり、第3学期が始まりました。始業式では、新年の抱負として「今日一日」を大切にして、精一杯頑張ってもらいたいと話しました。この中では、『あたりまえ』という詩を紹介しながら、毎日を充実させてほしいという想いを伝えました。その後、3学期の抱負を代表の生徒（1年：水野郁君、2年：猪狩颯君、3年：和田周馬君）が堂々と発表しました。3学期はいよいよまとめの学期となります。病気や事故には十分気をつけて有意義に過ごしてほしいと思います。特に受験を控えている3年生には、体調管理を万全にして持てる力を精一杯発揮できるようにして試験に臨んでほしいと思います。



（3学期の抱負発表）

「あたりまえ」 昭和五十四年一月一日新年の贈り物（井村和清）

あたりまえ こんなすばらしいことを
みんなはなぜよろこばないのでしょ
あたりまえであることを
お父さんがいる、お母さんがいる
手が二本あって、足が二本ある
行きたいところへ自分で歩いていける
手をのばせばなんでもとれる
音がきこえて声がでる
こんなしあわせなことがあるのでしょ
しかし、だれもそれをよろこばない
あたりまえだ、と笑ってすます
食事がたべられる
夜になるとちゃんと眠れ、そして又朝がくる
空気を胸いっぱいにする
笑える、泣ける、叫ぶこともできる
走りまわれる
みんなあたりまえのこと
こんなすばらしいことを、
みんなは決してよろこばない
そのありがたさを知っているのは、
それを失った人たちだけ なぜでしょう あたりまえ
『飛鳥へ そしてまだ見ぬ子へ』より

